

武庫川流域総合治水等検討対象項目まちづくりWG(案)

注：050209 提出資料をベースに総合治水検討項目(下記網掛け以外)についてリストアップした。

凡例**：治水(治) 利水(利) 環境(環) 景観(景) 利活用(活) 教育(教) 防災(防) 情報(情) 総合(総)

	1 環境基盤(土、水、緑)	2 環境表層(オープンスペース、施設)	3 市街地、建築物、工作物等	4 ライフスタイル、ソフト施策等
A 流域沿川地域	<p>A-1</p> <p>A-1- 山林保全、整備、育成(治)(総)</p> <p>A-1- 農地、田園保全、育成(治)(総)</p> <p>A-1- その他緑地保全(治)(総)</p> <p>A-1- 開発規制誘導(治)</p> <p>A-1- 小流域単位の保全(治)(環)</p> <p>A-1- 表土保全、土砂流出抑制(治)</p> <p>A-1- 水網ネットワーク(利)(環)</p> <p>A-1- 水質保全、浄化(利)(環)</p> <p>A-1- 関連基盤整備事業コスト比較と評価(治)(総)</p> <p>A-1- 内水排除施設整備(治)</p>	<p>A-2</p> <p>A-2- ため池保全、改修(治)</p> <p>A-2- ため池治水利用施設(治)</p> <p>A-2- 雨水貯留浸透施設(治)</p> <p>A-2- 透水性舗装(治)</p> <p>A-2- ビオトープ整備(環)(教)</p> <p>A-2- 景観風景保全、育成(環)(景)</p> <p>A-2- 湧水保全(利)(活)</p> <p>A-2- 湿地保全(環)</p> <p>A-2- 流域散策、ハイキングネットワーク、文化施設、文化財ネットワーク(活)(教)</p> <p>A-2- 雨水、下水処理水等水循環システム(活)(環)</p> <p>A-2- 沿川動植物環境保全育成(環)(教)</p>	<p>A-3</p> <p>A-3- 防災調整池(治)</p> <p>A-3- 各戸貯留(治)(利)</p> <p>A-3- 棟間貯留(治)(利)</p> <p>A-3- 学校貯留(治)(利)</p> <p>A-3- 公共公益施設貯留(治)(利)</p> <p>A-3- 多目的遊水地(治)</p> <p>A-3- 宅地嵩上げ(治)</p> <p>A-3- 輪中堤(治)</p> <p>A-3- 建築ビロイ化等(治)</p> <p>A-3- 河畔整備事業等(活)</p> <p>A-3- 屋上緑化(治)(環)</p> <p>A-3- 利用、誘導サインシステム(活)(総)</p> <p>A-3- 市街地景観の保全育成(景)</p>	<p>A-4</p> <p>A-4- 武庫川流域連携組織(総)</p> <p>A-4- 流域森林育成組織(治)(環)</p> <p>A-4- 流域情報ネットワーク(総)</p> <p>A-4- 流域情報データベース(情)</p> <p>A-4- 武庫川なんでも塾(歴史文化、民話、自然、災害、治山治水等)(教)(総)</p> <p>A-4- 武庫川マイスター制度(教)(総)</p> <p>A-4- 武庫川総合行政システム(治)(活)(環)(教)(防)(情)(総)</p> <p>A-4- 沿川地域のまちづくり理念、テーマ、地域のシンボル資源として活用(総)</p> <p>A-4- 沿川地域と河川を一体とした、条例や憲章(総)</p>
B 河川	<p>B-1</p> <p>B-1- 河川改修(掘削、引提、嵩上げ等)(治)</p> <p>B-1- 遊水地(治)</p> <p>B-1- ダム** (治)</p> <p>B-1- 利水(利)</p> <p>B-1- 水質保全、浄化(利)(環)</p> <p>B-1- 河川整備事業コスト比較と評価(治)(総)</p>	<p>B-2</p> <p>B-2- 貴重種保全、環境保全(環)(教)</p> <p>B-2- 景観風景保全、育成(環)(景)</p> <p>B-2- 景観木 樹林等保全整備(環)(景)</p> <p>B-2- ビオトープ整備(環)(教)</p> <p>B-2- 近自然河川整備(環)(景)</p> <p>B-2- 親水空間整備(環)(教)(活)</p> <p>B-2- 河川敷地包括占用許可(活)</p> <p>B-2- 河川空間の有効活用(活)</p> <p>B-2- 桜つつみモデル事業等(活)(景)</p>	<p>B-3</p> <p>B-3- 河川立体区域制度(活)</p> <p>B-3- 補助スーパー堤防(治)(活)</p> <p>B-3- 橋梁デザイン配慮(景)</p> <p>B-3- 護岸等地域資源素材活用とデザイン配慮(環)(景)</p> <p>B-3- 利用、誘導サインシステム(活)(総)</p> <p>B-3- 非常時防災施設整備(防)</p>	<p>B-4</p> <p>B-4- 防災避難システム(治)</p> <p>B-4- 河川環境学習(環)</p> <p>B-4- 河川レンジャー等(治)(活)(環)(教)(防)(情)</p> <p>B-4- 河川空間での各種イベント(活)(環)(教)(総)</p> <p>B-4- 河川空間でのスポーツ、レクリエーション(活)(環)(教)(総)</p>

注： * 上記対応項目と主に関連すると考えられる分野、 ** 必要とされた場合

開催日 場所 出席者	議題と協議結果の概要
第1回 05/02/02 宝塚土木 伊藤、草薙、酒井、佐々木、 長峯、田村の各委員	1. まちづくり WG の成果目標案 2. まちづくり WG の取り扱う範囲 3. まちづくり WG 調査検討のための必要資料 4. 今後の WG の進め方、分担等 協議結果----まちづくり WG で検討する内容の幅と深度について協議を行った。限られた時間内で出来ることと今後何らかの形で取り組むべき内容に分けて検討することとした。
第2回 05/03/28 同上 伊藤、岡田、草薙、酒井、 佐々木、田村の各委員	検討課題として、 武庫川の川づくり理念、基本方針、まちづくり WG で検討する項目 県が収集しているまちづくり関連資料の読み込みと分析、不足資料 の請求と分析、まち歩き、川歩き等、各 WG との調整・協働のあり方 まちづくり関連行政へのヒアリング、WG 内の役割分担等、につい て協議した。 協議結果----「武庫川づくり」に対する共通認識がいまだなされていない。 武庫川づくりに対する「基本理念」「基本方針」の議論が必要。 まちづくり WG の検討事項について、 川づくりとまちづくりに関して、武庫川独自の計画や整備手法を検討 したい。例えば、 上流域：緑地保全、市街化見直し等土地利用動向の解析と緑地・農地保 全対策 中流域の渓谷：自然環境保全、溪流と周辺緑地環境の連携及び景観保全、 育成 下流域：宝塚については、武庫川を活かしたまちづくり、川を向いたま ちづくり等。宝塚、西宮、尼崎、伊丹等については、武庫川の 河川空間と緑地景観を活かしたまちづくり。 河川空間と都市空間の様々な地域資源を連携しながら多様なま ちづくりへの足だしの提案が必要。 超過洪水を念頭に置いた都市整備のあり方。 武庫川及び武庫川水系に関するソフト、ハードの地域資源を把握し川 づくりに活用したい。 まちづくり WG の役割分担。 一定の検討後、テーマを明確にした上で関連行政機関との協議を行う。
第3回 05/04/11 同上 伊藤、草薙、岡田、佐々木、 田村の各委員	検討課題として、 1. まちづくり WG から見た総合治水に関わる検討項目案(資料表参照) 2. 草薙委員の提案について(まちづくり WG 調査活動の内容) 3. 村岡委員の環境 WG 提案との調整について 協議結果---- 1. 総合治水に関わる検討項目案了解 2. 武庫川の位置づけと役割に関する資料の読み込みと分析・評価を 行う。武庫川総合治水の中で、土地利用規制等市街化区域の流出抑制 策。一時貯留施設整備。建築、都市整備面からの過洪水対策。武庫川 と周辺地域の魅力づくり、特色と個性ある川づくりに向けた取り組み。 歴史文化、レクリ、スポーツ需要、景観資源の活用と景観整備。上流、中 流、下流の連携策。等について具体的に作業を進める。 3. 協力可能な範囲で協働する。 以上の検討にあたり、伊藤委員が作成した資料を活用する。総合治 水とまちづくりの観点では、出来れば上流中流下流の典型的なケー スを想定して、具体の提案を行いたい。

今後の WG 開催予定は、未定であるが精力的に作業を行っていく予定である。

以上 文責田村